

事例  
研究高年齢者の活躍が  
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業の人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。本事例を足掛かりとして、高齢者を活用した人材確保にお役立てください。

働きやすい環境作りと充実した私生活を支援  
三井不動産レジデンシャル  
サービス北海道株式会社60歳以上のシニアが9割を占める  
ライフサポーター

三井不動産レジデンシャルサービス北海道株式会社は、道内の不動産管理をメイン業務としている。管理戸数は6,761戸(2022年12月1日現在)。このうちの約8割が札幌市内にある。同社が管理する市内円山のマンションの管理人を務める平塚幸子さん(66歳)を訪ねた。ちなみに同社ではマンション管理人のことを「ライフサポーター」と呼んでいる。ライフサポーターは合計136人。男性が128人、女性は8人。60歳以上のシニアが9割を占めているという。平塚さんがライフサポーターになったきっかけは「主人がこの会社でライフサポーターをしていて、その働き方がいいな」と感じたからだとか。「黙々と働く仕事だけど、そこには、お客様がいてお客様との関わりが、アットホームで気持ちが良い」とご主人から話を聞いて、平塚さんも働いてみたいと思ったそうだ。お子さんが自立して、親御さんのお世話も不要になり、ご主人と二人だけの生活になった。

新しいライフスタイルを得て、充実を感じているという。

平塚さんの勤務は朝8時からお昼の12時、月曜から土曜日まで働いていらっしゃる。女性の管理人は珍しいらしく、マンションの子どもたちが「今度は女の人だよ!」「いってらっしゃい」って言われたよ!」と大きな声で話すのを聞くのも楽しいという。ご夫婦ともに、満足して働けるという同社の特長にはどんなものがあるのだろう。

充実した福利厚生と  
アットホームな職場でいきいきと働く

総務部総務課の秋山拓也さんに聞いた。「弊社の従業員は167名。このうち社員は31名。136名のライフサポーターの方たちに事業を支えてもらっているといっても過言ではありません」。だから、いつも一人で働いているライフサポーターの方たちを全員集め、現場の課題を共有し解決策を探るための研修会を、年に4回開催している。「冬には忘年会を開催し、みなさんを慰労させてもらっています」。



写真左) 平塚幸さんがライフサポーターを務める市内円山にあるマンション。  
写真中) マンションの共有部を清掃する平塚さん。  
写真右) 冬季は雪かきも大事な仕事だ。「マンション管理というイメージがありますが、ほとんど座っていることはありません」と平塚さん。

会社概要 【名称】 三井不動産レジデンシャルサービス北海道株式会社  
【所在地】 札幌市中央区北2条西4丁目1番地  
札幌三井JPビルディング17階  
【電話】 011-231-8822

【設立年月日】 2001年4月11日  
【資本金】 100,000,000円  
【代表取締役社長】 東 幸治  
【従業員数】 167名(2023年1月1日現在)

【主な営業内容】 不動産の総合管理/各種損害保険代理店/各種請負工事/大規模修繕工事設計・監理

また、福利厚生運営代行企業と契約し、全国の宿泊施設を利用できるようになっているが、この宿泊施設を、年間10泊まで1泊1名3,000円、同社が宿泊費用を援助するシステムなどもある。平塚さんもこのシステムを利用して、「11月から3月の間に休みをいただき、主人と二人で全国を旅行するのが楽しみです！」と言う。このように、福利厚生が正社員と同様に、ライフサポーター全員に適用されているのも働くうえでの高い満足度につながるのだろう。

11月から3月の間以外の季節、平塚さんご夫婦は畑仕事に忙しい。畑にはスイカ、トマト、メロン、キュウリ、ブドウなど、30種60品目の野菜を育てているのだ。そのために耕運機を2台、保有しているという。もう素人の趣味という域を超えて、立派な「仕事」だ。収穫物はご家族・親戚や知り合いの方々に配っているのだとか。

一年を通じてお二人とも元気で働き、全国を旅して楽しみ、広い畑の土を耕し、野菜を収穫する。いきいきとした人生を謳歌している。

同社ではライフサポーターの年齢制限を最大で72歳までに設定し、原則常時受け入れているという。



平塚幸子さん(66歳)

「ライフサポーターになって半年。今までマンションに暮らしたことがないので、とても新鮮な感覚です」と言う。

総務部 総務課

主任 秋山拓也さん

「去年はコロナ禍で忘年会を開催できない代わりにお米6キロをライフサポーターさんに贈らせていただきました。現場で働く人たちの大事にする会社だ。」



## 社労士からひとこと!



社会保険労務士・  
キャリアコンサルタント  
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

## 「ライフサポーター」は企業のサポーターでもある。

「ライフサポーター」という呼び名を初めて知りました。業務内容としては「マンション管理人」とイコールと感じられるのですが、マンション管理人だと「マンションを管理する人」というイメージのみです。今回登場された方は「そこに居住している方のサポート」であって、人間同士の関わりが強くなくてはならないと考えています。そこに、

「ライフサポーター」という名称が登場するのではないのでしょうか？ある程度の人生経験を満たした方にサポーターでいてほしいものです。

正社員の方と福利厚生が同じというのも、「ライフサポーター」を会社の「サポーター」として考えている企業方針の表れなのでしょう。

## 高齢者雇用の求人募集は【就サポ】へ!

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら  
**就サポ** 札幌市就業  
サポートセンター

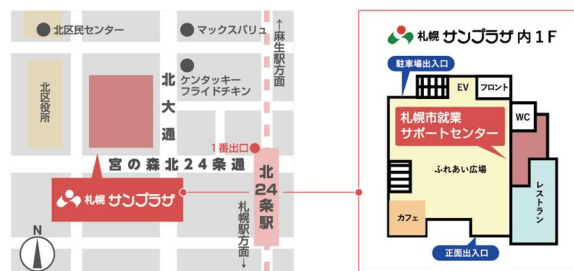
求人開拓室

☎ 011-708-7865

☎ 011-716-6811

《受付時間》平日8:45~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)

就サポサービス情報サイト <http://saposen.co.jp/>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンブラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分

札幌市就業サポートセンターでは、札幌市が委託する民間職業紹介事業者とハローワークが共同で無料の職業紹介サービスを行っている全国で唯一の官民共同窓口です。職業紹介やカウンセリング、セミナーなどを組み合わせた多様な就労支援サービスを提供しております。



さっぽろ市  
02-H01-22-2657  
R4-2-1656